

固定資産会計実務マスター講座

～固定資産と減価償却の税務・経理を最新の法令に基づき、基礎から実務に沿って解説～

□日時：平成31年 3月19日(火) 10:00～17:00(6H)

□講師：公認会計士・税理士
西尾 宇一郎氏

□会場：本会関西本部内 専用教室(下記案内図参照)
大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□主催：一般社団法人 日本経営協会

□開催にあたって

固定資産は金額も大きく、長期間使用することから、企業の財産に占める割合は大きなものとなっています。また、減価償却費等の固定資産関連費用は、企業利益や課税所得に大きな影響を与えることとなっています。一方、固定資産の会計実務は、ボリュームが大きい上に、税法の規定に基づいて処理されることが多く、難解な事項も少なくありません。

本講座では、固定資産と減価償却費に関わる会計と税務について、基礎から応用まで実務に沿って幅広く解説いたします。

経理、税務の担当者を中心に、固定資産の会計処理に関わる実務知識を身につけたいとお考えの皆様にも最適なコースです。関係各位の積極的なご参加をおすすめ申し上げます。

講師紹介

公認会計士・税理士
西尾 宇一郎氏

昭和52年同志社大学経済学部卒業。
公認会計士、税理士。
多くの企業の会計監査、指導、税務相談等に活躍。著書に「会社の税金便利事典」「相続・贈与の税金便利事典」「土地・建物の税金便利事典」「経理実務便利事典(共著)」「預貯金・有価証券をめぐる会社税務(共著)」などがある。

■ 申込要領 ■

参加料: (1名につき)	参加料	消費税	合計
本会会員	30,000円	2,400円	32,400円
一般	35,000円	2,800円	37,800円

申込方法：裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵送又はFAXにて下記へお申込みください。追って、参加料と振込口座名を記載した請求書をご派遣責任者までお送りします。参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報ください)
●領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
●電話では、ご予約のみ承ります。(後日、必ず申込書をご送付ください)
●振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

キャンセルについて

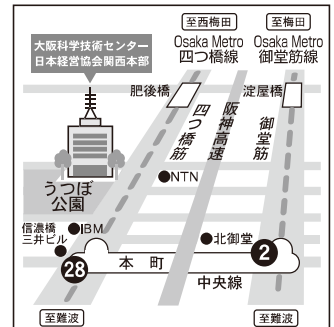
開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日まで連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

その他：●教材は原則として当日お渡しいたします。
●ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
●録音・録画・写真撮影は原則としてお断りいたします。
●参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

お申込・お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：佐々木

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <http://www.noma.or.jp/kansai/>
TEL 06(6443)6962(ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

〈会場案内図〉



- 大阪方面よりお越しの場合
▶四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- 新大阪方面よりお越しの場合
▶御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
▶四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
▶御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

□プログラム□

1. 固定資産の内容と取得価額

- (1) 固定資産とは
- (2) 固定資産の取得価額
- (3) 固定資産として処理する必要のないもの(少額の固定資産)
- (4) 3年一括償却資産
- (5) 減価償却できない資産(非減価償却資産)

2. 資本的支出と修繕費

- (1) 資本的支出とは、修繕費とは
- (2) 資本的支出と修繕費の区分のしかた

3. 減価償却費の計算のしかた

- (1) 減価償却の方法
- (2) 耐用年数(法定耐用年数、中古資産の耐用年数)
- (3) 旧定額法・旧定率法での減価償却費の計算(平成19年3月以前取得資産)
- (4) 定額法・定率法での減価償却費の計算(平成19年4月以後取得資産)
- (5) 特別償却の意味と会計処理
- (6) 固定資産取得の場合の法人税の特別控除

4. ソフトウェアの会計処理

- (1) ソフトウェアの会計上の取扱い
- (2) ソフトウェアの税務上の取扱い

5. 固定資産除却時の経理処理

6. リース取引

- (1) リース取引の会計処理
- (2) リース取引の税法の取扱い

電卓をご持参下さい。

(4.0)

キ-----リ-----ト-----リ-----線-----

FAX (06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部企画研修グループ(佐々木)宛

NOMA		「固定資産会計実務マスター講座」参加申込書(0806)		H31.3/19 32,400/37,800	
(フリガナ) 会社名:	TEL () -	業種:	従業員数:		
団体名	FAX () -		資本金:		
(フリガナ) 所在地:	(〒)	ご派遣責任者:			
参加者氏名		所属・役職名		所属・役職:	
(フリガナ)		●お支払い方法		通信欄	
(フリガナ)		<input type="checkbox"/> 銀行振込			
(フリガナ)		<input type="checkbox"/> その他			
※Eメールで本会セミナー情報をご案内いたしますので、アドレスをご記入ください。 []		ご請求先(ご担当)		_____	
				(ご所属)	

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。 □ 不要